

地方独立行政法人青森県産業技術センター

令和3年度 業務実績評価書

令和4年9月

青森県



# 目 次

第一 評価の方法	-----	1
第二 評価の結果		
1 項目別評価		
(1) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及)	-----	3
(2) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (産業活動への総合的な支援)	-----	9
(3) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (試験・研究開発の取組状況等の情報発信)	-----	12
(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	-----	13
(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	-----	15
(6) その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置	-----	16
2 全体評価		
(1) 総評	-----	18
(2) 業務運営の改善その他の措置命令事項	-----	18

## 第一 評価の方法

地方独立行政法人法第28条第1項及び第3項の規定に基づく、地方独立行政法人青森県産業技術センター（以下「センター」という。）の令和3年度における業務の実績評価については、「地方独立行政法人青森県産業技術センターの業務の実績に関する評価の基本方針」及び「地方独立行政法人青森県産業技術センター事業年度評価実施要領」に基づき行った。

評価の実施は、センターが年度計画に定めた事項ごとにその実績及び自己評価等を内容とする業務実績報告書等を基に、センターから聴取等を行うことにより、業務の実績について調査・分析を行い、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行った。

### 1 項目別評価

中期計画の次の事項ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、次の5段階の評価基準により評価するとともに、その評価理由を明らかにした。

- (1) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  
(本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及)
- (2) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  
(産業活動への総合的な支援)
- (3) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  
(試験・研究開発の取組状況等の情報発信)
- (4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
- (5) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置
- (6) その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置

### 〔評価基準〕

- 5：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- 2：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

## 2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、記述式により総合的な評価を行った。

## 第二 評価の結果

### 1 項目別評価

<b>(1)</b> 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置(本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及)	<b>評価</b>	4 : 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
---	-----------	----------------------------

#### ア 部門別評価

##### (ア) 工業部門 (評価 4)

##### <評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項 13 項目のうち、5 項目が「4 : 年度計画を上回って実施している」、8 項目が「3 : 年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4 : 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

##### <順調な進捗状況にある取組>

##### a 試験・研究開発の重点化

##### [戦略推進事項]

##### (a) 労働力の不足等に対応するための ICT 等を活用した農林水産物の生産技術等に関する試験・研究開発

着水型ドローンのつり下げ装置に装着する小型採水器を新たに開発するとともに、つり下げ装置の防水技術の特許出願したことで、水産分野における調査(藻場分布調査、湖沼環境調査等)の省力化や効率化につなげたことや、下北豪雨災害時に着水型ドローンに水中カメラを装着して漁場への土砂の流入状況を観察し、災害対応でも研究成果を活用できることを確認したことから、順調な進捗状況にあると認められる。

##### (b) 健康的な生活に寄与する県産素材を活用した付加価値の高い製品に関する試験・研究開発

地域性と機能性の強化による県産酒類の高付加価値化を図るため、自然由来の酵母を利用した<sup>きもと</sup>生酏づくりについて県内企業と共同で研究開発を行い、1 銘柄の<sup>きもと</sup>生酏清酒が商品化されたほか、三内丸山遺跡から分離した酵母を利用した果実酒の小仕込み試験を行い、1 銘柄 2 種のワインが商品化されたことから、順調な進捗状況にあると認められる。

## 〔重点推進事項〕

### (a) 人口減少の進行等の本県の地域課題に対応したものづくり産業に関する試験・研究開発

県内産業を支えるスマートセンシング技術の開発において、小型センサデバイスのみで牛の横臥時間や採食量・飲水量を計測する複合センシング技術を開発するとともに、スマートフォンなどの端末で遠隔地から家畜の行動をモニタリングするシステムを特許出願したことで、他の畜産動物の飼養管理や製造業の生産管理などへの応用が期待されることから、順調な進捗状況にあると認められる。

### (b) 県民の生き生きとした健康未来を支える製品・技術及び地域工芸を支える技術に関する試験・研究開発

異分野への進出等による地域工芸品の高付加価値化を図るため、輸送機や建築内装材への採用に必要な産業規格に準拠した性能評価試験を実施し、県内漆工芸及び木工芸の新市場参入に向けた基盤づくりを行うとともに、県内企業との共同研究により建築内装材として2件の津軽塗デザインタイルが商品化されたことから、順調な進捗状況にあると認められる。

## b 試験・研究開発の成果の移転・普及

### (a) 商品化・実用化の推進

生産事業者と共同で研究開発を行い、成果の商品化・実用化の件数が24件（目標達成率160パーセント）と目標値を上回ったことから、順調な進捗状況にあると認められる。

## (イ) 農林部門（評価4）

### ＜評価の理由＞

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項14項目のうち、1項目が「5：年度計画を大幅に上回って実施している」、4項目が「4：年度計画を上回って実施している」、9項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

## <特筆すべき取組>

### a 試験・研究開発の重点化

#### 〔重点推進事項〕

#### (a) 国内外で競争力の高い優良な品種及び種畜に関する試験・研究開発

黒毛和種の種雄牛生産支援において、「幸紀花」及び「寿優福」が優れた産肉能力を持つことを明らかにし、基幹種雄牛の指定につなげた。特に「寿優福」については、ロース芯面積・脂肪交雑等の項目が歴代現場後代検定牛中の1位の成績であり、畜産物の高品質生産に大きく貢献することが見込まれることから、特筆すべき進捗状況にあると認められる。

## <順調な進捗状況にある取組>

### a 試験・研究開発の重点化

#### 〔戦略推進事項〕

#### (a) 労働力の不足等に対応するためのICT等を活用した農林水産物の生産技術等に関する試験・研究開発

ながいもの茎葉の生育量を近赤外線カメラ及びカラーカメラによる近接リモートセンシングで推定できることを明らかにしたほか、リンゴ園地において3種類の自動草刈り機の実用性を調査して作業時間の短縮が可能であることを確認するなど、少ない労力で高品質な農産物を安定的に生産できる技術の開発を進めていることから、順調な進捗状況にあると認められる。

#### (b) 温暖化等の気候変動に対応できる農林水産物の生産技術等に関する試験・研究開発

にんにく種苗生産におけるアブラムシ媒介性ウイルス病対策として、シルバーマルチを使用することでアブラムシ類の飛来が抑制され、ウイルス感染が低減することを明らかにしたことで、種苗の安定生産に貢献することが期待されることから、順調な進捗状況にあると認められる。

#### 〔重点推進事項〕

#### (a) 産地活力を向上させる高品質で収益性の高い農林畜産物等の生産技術等に関する試験・研究開発

水稻新品種「はれわたり」の普及拡大に向けて、生育特性を把握する試験を行い、普及可能地域、適正<sup>もみ</sup>籾数、刈取適期等を明らかにし、栽培マニュアル及びパンフレットの作成に活用したほか、大豆栽培におけるツユクサ防除対策技術体系の確立、生産性や品質の優れたアルストロメリア品種の選定、おうとう品種「ジュノハート」をはじめとする特産果樹の安定生産技術の開発などを進めたことで、産地の維持・強化に貢献することが期待されることから、順調な進捗状況にあると認められる。



**(b) 環境負荷の軽減等に対応した安全・安心な農林畜産物の生産管理技術に関する試験・研究開発**

りんご黒星病発生低減の試験では、落葉収集機を用いることで地面に張り付いた落葉を手作業よりも効率的に剥がして収集できることや落葉を収集することでりんご黒星病による被害を軽減できることを確認したほか、斑点米カメムシの防除試験では、水田の畦畔除草の晩限や直播栽培における防除適期を明らかにするなど、農薬だけに依存しない総合的な防除方法の開発を進めていることから、順調な進捗状況にあると認められる。

**(ウ) 水産部門（評価4）**

**<評価の理由>**

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項12項目のうち、3項目が「4：年度計画を上回って実施している」、9項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

**<順調な進捗状況にある取組>**

**a 試験・研究開発の重点化**

**[戦略推進事項]**

**(a) 労働力の不足等に対応するためのICT等を活用した農林水産物の生産技術等に関する試験・研究開発**

工業部門と連携して開発したつり下げ装置を装着した着水型ドローンを使用して、内沼への小川原湖水の浸入状況を確認したほか、下北豪雨災害時に水中を観察して漁場への土砂の流入の状況を確認するなど、工業部門と連携した研究の成果が見られることから、順調な進捗状況にあると認められる。

**[重点推進事項]**

**(a) 漁業経営の安定・発展に向けた水産資源の持続的利用に関する試験・研究開発**

陸奥湾の重要な漁業資源であるマダラについて、稚魚分布調査、漁獲統計調査及び漁獲物の年齢査定により得られたデータを用いて年齢別の資源量を予測する手法を開発したことで、効果的な資源管理に結びつくことが期待されることから、順調な進捗状況にあると認められる。

**(b) 地域の特色ある漁業の発展に向けた新しい技術に関する試験・研究開発**

海面養殖サーモンの稚魚に標準の150パーセントの量の給餌を行うことで、ふ化後10か月間で海面養殖用種苗として利用可能となることを確認するとともに下北豪雨災害による被害を受けた養魚場への緊急対応として当該結果を基にした指導を行い、研究成果を現場でいち早く普及させていることから、順調な進捗状況にあると認められる。

**(エ) 食品加工部門（評価4）**

**<評価の理由>**

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項12項目のうち、1項目が「5：年度計画を大幅に上回って実施している」、3項目が「4：年度計画を上回って実施している」、8項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

**<特筆すべき取組>**

**a 試験・研究開発の成果の移転・普及**

**(a) 商品化・実用化の推進**

生産事業者と共同で研究開発を行い、成果の商品化・実用化の件数が37件（目標達成率247パーセント）と目標値を大幅に上回ったことから、特筆すべき進捗状況にあると認められる。

**<順調な進捗状況にある取組>**

**a 試験・研究開発の重点化**

**〔戦略推進事項〕**

**(a) 健康的な生活に寄与する県産素材を活用した付加価値の高い製品に関する試験・研究開発**

ラッキョウ及びマイタケを加温処理することで機能性を高める手法についての特許出願をはじめ、黒ニンニクやキクイモ加工品の機能性表示食品届出支援、栄養分の損失を抑える加工品等製造マニュアルの作成など、県産農産物の高付加価値化につながる研究に進展があったことから、順調な進捗状況にあると認められる。

## 〔重点推進事項〕

### (a) 意欲ある食品関連産業の技術的課題の解決や新商品開発支援に関する試験・研究開発

相談会等を通じて把握した事業者のニーズに基づき、製品の開発や改良を実施し、農産加工食品17品目、水産加工食品10品目が商品化されたほか、ホッキガイについて高品質な加工製品を開発し、調味乾燥品2品が商品化されるとともに、冷凍原料を使用したくん製オイル漬レトルト等の製法の普及を図ったことから、順調な進捗状況にあると認められる。

### b 試験・研究開発の成果の移転・普及

#### (a) 生産現場に有益な技術・情報の提供

新規加工品の製造方法の情報を県内事業者74件（目標達成率135パーセント）提供したことから、順調な進捗状況にあると認められる。

## イ 総合評価（評価4）

### <評価の理由>

4研究部門の評価の平均値により、「4」相当と認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

(2) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置（産業活動への総合的な支援）

評価

4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

### <評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項11項目のうち、2項目が「5：年度計画を大幅に上回って実施している」、1項目が「4：年度計画を上回って実施している」、8項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、産業活動への支援が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

### ア 技術相談・指導

#### (ア) 技術相談への対応

生産事業者及び関係団体等からの3,563件の技術相談について、電話や対面により指導するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

#### (イ) 生産現場における指導

農林水産分野において、地域県民局と連携して「青天の霹靂」良食味米生産指導プロジェクトチーム現地巡回指導やマツカワの養殖指導等を144回実施するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

### イ 依頼試験・分析・調査及び設備・機器の利用

#### (ア) 依頼試験・分析・調査

依頼試験・分析・調査について、積極的なPRを行い、実施件数が3,674件（目標達成率134パーセント）と目標値を上回ったことから、順調な進捗状況にあると認められる。

#### (イ) 設備・機器の利用

設備・機器の利用について、積極的なPRを行い、利用件数が5,404件（目標達成率360パーセント）と目標値を上回ったことから、順調な進捗状況にあると認められる。

## ウ 関係団体、産業界等との連携・協力

### (ア) 研究成果発表会、研修会等の開催

試験・研究開発により蓄積した技術等の成果を広く活用してもらうため、台湾での販売を見据えた開発支援商品の展示会、Webによる各研究所の研究成果発表会等を35回開催するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

### (イ) 関係団体等との情報交換

技術とノウハウの活用や情報交換のため、関係団体主催の「弘前大学研究交流カフェ」や「冷凍食品セミナー」等に1,107回参加するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

### (ウ) 地域産業の担い手の育成や子供たちの産業に対する理解の増進

担い手の育成や子供たちの理解の増進のため、関係団体主催の「りんご病害虫マスター養成講座」や「酒造技術者研修」等に264回、延べ406人、小学校、中学校、高等学校及び大学に19回、延べ40人の講師を派遣し、産業技術に対する理解を深めてもらうなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

## エ 知的財産等の創造・管理・活用

### (ア) 創造と有効活用

新たに使用を許諾したヤーコン加工品の製造方法などの産業財産権と「はれわたり」などの優良種苗供給の件数が5件（目標達成率250パーセント）と目標値を大幅に上回ったことから、特筆すべき進捗状況にあると認められる。

### (イ) 適正管理

権利を適切に管理するため、外部の有識者で構成する「職務発明等審査会」を2回開催し、特許権の更新等を適正に行うなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

### (ウ) 優良な種苗・種畜等の生産と供給

生産者が安全・安心で高品質な農林水産物を安定的に生産するため、水稻の種苗27,088kg、鶏のひな20,459羽、優良種雄牛の凍結精液3,813本を供給するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

## オ 緊急事態への迅速な対応

県と締結した「緊急時における業務連携に関する協定」に基づき、緊急事態に対応できる体制を整備し、令和3年12月に三戸町で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫対応として車両等の消毒作業を行ったほか、松くい虫被害が疑われるマツ類のDNA検査を行ってその結果を速やかに県に報告するとともに防除方法の助言を行うなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(3) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置（試験・研究開発の取組状況等の情報発信）

評価

4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

#### <評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項2項目のうち、1項目が「5：年度計画を大幅に上回って実施している」、1項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の取組状況等の情報発信が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

#### ア 多様な広報媒体を利用した情報発信

ホームページによる研究成果等の情報発信を、新たな動画41件を追加するなどして360回行ったほか、新聞、テレビ、ラジオ等の多様な広報媒体を用いて試験・研究開発の取組状況等をPRするなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

#### イ 迅速な情報提供

水稻、花き及び野菜の生育状況、りんごの開花予測、陸奥湾の海況などの利用者にとって有益な幅広い分野の情報をホームページで迅速に提供したことで、アクセス数が447,066回（目標達成率224パーセント）と目標値を大幅に上回ったことから、特筆すべき進捗状況にあると認められる。

(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

評価

3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。

#### <評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項7項目全てが「3 : 年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、業務運営の改善及び効率化の取組が計画どおりに実施されていると認められることから、「3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」と評価される。

#### ア 業務の見直し等

##### (ア) 内部評価、外部評価等に基づいた資源配分

令和4年度に実施する研究課題について、内部評価及び外部評価により予算額を査定するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

##### (イ) 業務実績評価やアンケート調査等に基づいた業務の見直し

県の業務実績評価において「業務運営の改善その他の措置命令事項」はなかったほか、センターの利用者を対象としたアンケート調査に基づき業務を見直すなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

##### (ウ) 情報システム等の有効活用

会議室や機器の利用予約を情報システムで行っているほか、会議のオンライン化を積極的に進め、業務の効率化を図るなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

#### イ 組織運営

##### (ア) 企画経営機能の発揮

理事会を5回、所長会議を4回開催し、予算や業務運営に関する計画等を審議するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。



### **(イ) 各試験研究部門による一体性の確保**

理事会や所長会議等での決定事項や各種規程などの共有すべき情報を職員がパソコン上で閲覧できる環境としているほか、スマート農業への早期適応や冷凍食品の研究開発の推進に向けて、研究所の枠を越えたプロジェクトチームを設置して検討を行うなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

## **ウ 職員の確保と能力の向上**

### **(ア) 職員の資質向上**

センターが策定した人員適正化計画に基づく専門性の高いプロパー職員の採用や、優秀な人財確保に向けた大学主催のオンライン企業説明会等への参加をはじめ、センターの人財育成方針に基づき各種研修への職員派遣や資格取得の支援を行うなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

### **(イ) 適正な人事評価**

人事評価制度を円滑に運用するため外部講師による評価者研修を行うなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

**(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置**

**評価**

**3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。**

### <評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項5項目全てが「3 : 年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、財務内容の改善に向けた取組が計画どおり実施されていると認められることから、「3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」と評価される。

### **ア 運営経費の執行の効率化**

#### **(ア) 省資源化の推進**

研究所間の会議をオンラインで行って使用料等の削減を図ったほか、消耗品等の一括発注により経費削減につなげるなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

#### **(イ) 職員のコスト意識の向上、運営経費の適正かつ効率的執行**

予算の執行状況を情報システムの掲示板で職員に周知してコスト意識の向上を図ったほか、企業会計事務担当者研修を通じて予算の適正執行等につなげるなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

### **イ 外部からの研究資金の導入と自己収入の確保**

#### **(ア) 公募型研究資金の獲得**

企業等からの受託研究費を41課題で111,686千円、国や科学技術振興機構等の公募型研究資金を17課題で24,006千円獲得するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

#### **(イ) 依頼試験手数料、農林水産物販売収益等の自己収入の確保**

保有する機器の利用料金や依頼試験の内容等を研修会等での説明やリストの配布により周知して利用に結びつけるとともに、生乳、米などの農林水産物を販売して自己収入を確保するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

### **ウ 剰余金の有効な活用**

剰余金を活用して設備等を更新しており、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(6) その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置

評価

3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。

### <評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項5項目全てが「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、その他業務運営に関する重要目標達成の措置が計画どおり実施されていると認められることから、「3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」と評価される。

#### ア 内部統制の強化及び法令遵守の徹底

「内部統制の推進に関する規程」に基づいた内部監査により業務の自己点検を行うとともに、法令遵守の徹底に向け「青森産技を支える人財の育成方針」に基づく基本研修を実施するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

#### イ 情報管理・公開

「情報セキュリティ規程」に基づき最高情報セキュリティ責任者、総括情報セキュリティ責任者、情報セキュリティ委員などを定めてネットワーク接続端末を管理するとともに、ホームページ管理講習会等を開催し、情報漏えい防止を図るなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

#### ウ 労働安全衛生管理

##### (ア) 安全衛生管理チェックリストによる各種点検及び労働安全衛生に関する研修等の実施

「職員安全衛生管理規程」に基づき、安全衛生管理チェックリストを用いて機器の自主検査を実施したほか、安全衛生パトロールの実施や事故事例の周知徹底を行って労働災害の防止を図るなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

なお、業務中に軽微な事故が9件発生しており、事故発生を未然に防止するため、引き続き労働安全衛生管理の徹底に努める必要がある。

### **(イ) 職員の心身の健康の保持増進**

全職員を対象に定期健康診断を実施し、「要指導」の判定を受けた職員に対して産業医による事后面談を実施したほか、メンタルヘルス担当医によるメンタルヘルス研修を開催するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

### **エ 施設・設備の計画的な整備**

畜産研究所の総合庁舎の整備に向けて実施設計が完成したほか、高品質ニンニク安定供給施設及び試験船「なつどまり」が竣工するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

## 2 全体評価

### (1) 総評

センターは、これまでの成果を継承しながら、技術の実用化や売れる商品づくり等の出口を見据えた取組を戦略的かつ重点的に推進し、本県の産業の振興及び経済の発展を下支えするため、役職員が一丸となって試験・研究開発の業務に取り組んでいる。

第三期中期目標・計画期間（令和元年度～令和5年度）における令和3年度の業務の実績評価は、「本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及」については黒毛和種の種雄牛「幸紀花」及び「寿優福」が優れた産肉能力を持つことを明らかにして基幹種雄牛の指定につなげたことや生産事業者との共同研究開発による商品化・実用化の件数が目標を大幅に上回ったこと、「産業活動への総合的な支援」については新たに使用を許諾した産業財産権と優良種苗供給の件数が目標値を大幅に上回ったこと、「試験・研究開発の取組状況等の情報発信」については水稻、花き及び野菜の生育状況、りんごの開花予測、陸奥湾の海況などの利用者にとって有益な幅広い情報をホームページで迅速に提供することでアクセス数が目標値を大幅に上回ったことから、「中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

「業務運営の改善及び効率化」など3項目については、計画どおり実施されたことから、「中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」とした。

これらを勘案し、全体評価としては、順調に業務が進行していると評価する。

生産資材や原材料の価格が高騰し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が依然として経済に影響を及ぼすなど、厳しい社会経済環境にある中、第三期中期目標の達成に向けて引き続き幅広い視点からの試験・研究開発及びきめ細やかな技術支援に取り組み、本県の産業振興及び経済発展に寄与することが必要である。

### (2) 業務運営の改善その他の措置命令事項

特になし。